

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	<p>1. 大牟田市及び周辺自治体における現況調査 地域特性、既存公共交通の現況、上位計画・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理。</p> <p>2. アンケート・ヒアリング調査 市民アンケート調査(大牟田市全域で15歳以上の市民を対象に市民の移動実態や移動への満足度、利用意向を把握、2,500世帯無作為抽出)、市内路線バスの利用実態調査(交通事業者提供データ)、交通事業者へのヒアリング調査(8事業者)を実施し、大牟田市内の交通事業者やバス等を運行している企業等を対象に運行面や経営面での問題・課題を把握するとともに、各種企業の課題解決と公共交通の利便性向上の両立を図るための企業間連携の可能性や連携に向けた課題を把握。</p> <p>3. 周辺自治体も含めた現況の公共交通に関する課題抽出や将来の公共交通の維持・確保に向けた検討 各種調査を踏まえ、持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理し、計画(案)を取りまとめた。</p> <p>4. 協議会開催 計画策定に向けた調査内容や結果を受けて、今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。</p>	A	<p>・大牟田市の様々な公共交通手段(鉄道、路線バス、高速船、タクシー等)が利用できる環境を活かし、交通結節点や拠点となる地域をつなぐ交通ネットワークの確保を図る。</p> <p>・将来、人口減少や高齢化が進展したとしても、地域で暮らす誰もが生活利便施設(医療や福祉、子育て、商業施設等)へ安心して移動でき、日常生活を維持することができるような公共交通サービス体系の構築を目指す。</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で得られた大牟田市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の実状に合致した持続可能な地域公共交通体系の構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、長期的な視点を考慮しつつ、地域特性を踏まえた計画目標の設定を検討されるとともに、策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施し、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
柳川市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性と公共交通の現状の把握 ・市民の利用形態やニーズの把握 ・地域公共交通の問題点・課題の整理 ・柳川市における公共交通の目指す姿及び施策の検討・提案 ・地域公共交通計画案の作成及びパブリックコメントの実施 ・地域公共交通会議運営支援、打合せ協議 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎データの整理、市民アンケート調査、利用者アンケート調査、ヒアリング調査等により現状及びニーズを把握することができた。 ・柳川市における地域公共交通の目指す将来像や基本方針と目標、実現に向けた施策について検討し、公共交通会議に諮るための計画素案を作成した。 	A	<p>【将来像】</p> <p>公共交通で、身近なところも、市外へも、おでかけできるまち</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民が利用しやすい公共交通体系 ②市外への移動がしやすい利用環境 ③市民・行政・交通事業者・地域みんなで公共交通を支える <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①身近なおでかけに公共交通を利用する人を増やす ②広域移動に公共交通を利用する人を増やす ③公共交通の持続性を高める <p>本計画では、上記の通り将来像、基本方針、目標を定め、生活の足として利用される公共交通の利便性を向上させ、市民生活を支えるとともに、持続可能な公共交通の実現を目指すものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で得られた柳川市における公共交通の現状や課題を踏まえ、短期、中期、長期に目標を区別して設定されることを期待します。 ・また、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築を検討されるとともに、施策が着実に実施されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
飯塚市地域公共交通協議会	令和5年度から5年間の「飯塚市地域公共交通計画」を策定するため、本市の各種公共交通機関の運行・利用状況の分析、飯塚市の上位関連計画の整理、市民アンケート、コミュニティ交通利用者アンケート及び公共交通事業者ヒアリングなどの各種意向調査の結果集約・分析、並びに「第2次飯塚市地域公共交通網形成計画」の進捗状況の確認を実施した。	A	<p>◇「第2次飯塚市総合計画」及び「飯塚市都市計画マスタープラン」等の上位関連計画との整合性を図ること。</p> <p>◇令和4年4月からの3年間のコミュニティ交通の新体系での事業運営に係る協議内容や方針等を含めた内容とすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点連携型まちづくりと一体的な公共交通体系の構築 ・民間、行政及び地域住民との協働による公共交通体系の構築 ・効果的・効率的で持続可能な公共交通体系の構築 <p>◇本市の各種公共交通機関の運行・利用状況の分析</p> <p>◇市民アンケート、コミュニティ交通利用者アンケート及び公共交通事業者ヒアリングなどの各種意向調査の実施</p> <p>◇「第2次飯塚市地域公共交通網形成計画」の進捗状況の確認による現状把握・分析</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で得られた飯塚市における公共交通の現状や課題を踏まえ、鉄道、路線バス、コミュニティバス、予約乗合タクシー等の多様なモードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、第2次飯塚市総合計画や飯塚市都市計画マスタープラン、飯塚市立地適正化計画、飯塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合をとりつつ、策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
八女市地域公共交通協議会	<p>1. 地域特性と公共交通の現状把握 既存資料や既往調査結果等により地域の交通状況や公共交通の利用状況を把握</p> <p>2. 住民の利用実態やニーズ把握調査 住民アンケート調査、路線バス利用実態調査(OD及びアンケート調査)、乗合タクシー利用者アンケート調査、交通事業者ヒアリング調査を実施</p> <p>3. 八女市の公共交通に関する課題整理 1. 及び2. の収集資料及び調査結果を活用し問題点の抽出・整理を行い、取り組み方針をまとめた。</p> <p>4. 協議会の開催 1. ～3. について協議会で議論した。(分科会として計画策定委員会を設置)</p>	A	<p>○補助対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>○事業内容: 総合的かつ持続可能な交通ネットワーク構築を目指すため、現状把握、課題・問題点の整理を行い、新たな公共交通体系の基本方針、目標設定、目標達成に向けた事業の検討を行った。</p> <p>○実施時期等: 令和4年度中に、課題整理及び取り組み方針案を作成し、基本方針や目標等の検討を行い交通計画を策定した。</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で得られた八女市における公共交通の現状や課題を踏まえ、路線バス、コミュニティ交通、福祉油症運送等の多様なモードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、今後の地域公共交通計画の策定に当たっては、八女市の上位計画等を踏まえた長期的な視点を考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町地域公共交通計画策定のため、地域や公共交通の現状を確認し、移動ニーズ等把握のための調査(アンケート・ヒアリング)を実施した。調査結果をもとに、遠賀町地域公共交通網形成計画の評価と課題の整理を行い、遠賀町地域公共交通計画(案)を作成した。遠賀町地域公共交通会議において、遠賀町地域公共交通計画(案)について協議を経て策定した。	A	<p>地域公共交通計画の基本方針として、以下の3つを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本方針1 コンパクトシティの形成に向けたJR遠賀川駅を拠点としたネットワークの維持形成。 ○基本方針2 地域との協働や様々な工夫による利便性と効率性の向上。 ○基本方針3 社会情勢の変化に対応した多面的な公共交通の理活用促進。 <p>現状把握をし、各種調査結果をもとに、遠賀町コミュニティバスの持続的な運行だけでなく、本町の実情に合った公共交通ネットワークを構築する。</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で得られた遠賀町における公共交通の現状や課題を踏まえ、鉄道、路線バス、コミュニティ交通等の多様なモードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、今後の地域公共交通計画の策定に当たっては、遠賀町の上位計画等を踏まえた長期的な視点を考慮しつつ、地域の理解を得ながら、施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査等の実施 上位関連計画等との位置づけの整理 公共交通の現状と課題の整理 法定協議会の開催 計画案の作成 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート(2,500名)およびコミュニティバス利用者向けのアンケート調査を実施し、移動特性やニーズ等について把握した。 上位計画である総合計画や、総合戦略等の関連計画との位置づけを整理した。 現状把握とアンケート調査等の結果分析を踏まえ、課題を抽出、整理した。 みやま市に適した公共交通について検討し、計画の素案を作成。 	A	<p>【基本方針】</p> <p>コミュニティバス「くすっぴー号」の抜本的な見直しにより公共交通の持続性を高め、安心感をもって暮らし続けられるまちをつくる</p> <p>目標① コミュニティバス「くすっぴー号」を新しい運行形態へと転換する</p> <p>目標② コミュニティバスと路線バス・鉄道等の広域移動手段との連携とネットワーク化により、市内移動から広域移動まで多様な移動ニーズに対応する</p> <p>目標③ 多様な主体や関連分野との連携により地域全体で公共交通を支える仕組みづくりの検討、公共交通の利用促進や情報提供の充実を図り、公共交通手段の持続性の確保に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で得られたみやま市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様なモードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。 また、今後の地域公共交通計画の策定に当たっては、みやま市の上位計画を踏まえつつ、地域特性に加えて、費用面の影響等も考慮した計画目標の設定を検討されるとともに、策定後においては同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
東峰村地域公共交通活性化協議会	<p>◆ 地域交通資源の現状把握 本村の交通資源(スクールバスや福祉施設の送迎バス等)について、関係者にヒアリングを実施し、車両やドライバーの活用可能性など検討を行った。本調査に基づいて既存の交通資源を活用した事業を組み立て、実証実験を実施した。</p> <p>◆ 地域交通に関する課題及びニーズ把握 路線バスについて1週間の乗降調査を実施し、村民の移動傾向の詳細を把握した。また、令和3年度に実施したアンケートやヒアリングの調査結果等も踏まえ、より具体的な課題及びニーズを抽出した。</p> <p>◆ 実証実験の検討、実施 上記調査に基づき、既存の輸送資源や人材資源を活用した乗合タクシー事業を3週間の実証運行で行い、予約受付から配車に至るまでの業務に関する課題や、村内でのニーズ等を確認した。</p> <p>◆ 地域の公共交通計画のとりまとめ 上記調査に基づき、公共交通体系の構築に必要な実施事業を検討した。また、検討した事業について関係各所との協議・調整を行い、事業の具体化を進めた。これらの取組も踏まえ、地域公共のマスタープランとなる地域公共交通計画を取りまとめた。</p> <p>◆ 協議会開催 計画策定に向けた調査内容や、結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。</p>	A	<p>◆ 地域公共交通全体について 本村が地域住民、事業者と一体となって自律的な地域交通のマネジメントを行える形を目指し、組織、体制構築を推進する。組織、体制の構築については長期目線でマネジメント機能を成熟させ、将来のより厳しい人材不足、利用者減少等に備える。</p> <p>◆ 地域内フィーダー系統について 令和5年夏のBRT開通に合わせ、地域内フィーダー系統としての乗合タクシー事業を速やかに整える。</p> <p>◆ 幹線系統について 近隣自治体及び交通事業者と綿密な協議を行い、新設した村内路線の運行も踏まえたうえで最適な形を検討する。</p> <p>◆ MaaS事業について 県主導のMaaS事業や近隣市町村の取組みとの整合性を重視し、効果を最大化することを旨とした事業設計を行う。東峰村観光アクションプランとの連動も検討する。</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で得られた東峰村における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様なモードが相互に連携した交通体系の効率的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、今後の地域公共交通計画の策定に当たっては、東峰村の上位計画を踏まえた長期的な視点や観光の視点も考慮しつつ、地域が一体となって施策が着実に実施され、策定後においては同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
嘉麻市地域公共交通会議	<p>1. 地域及び公共交通などの現状調査・整理 地域及び公共交通などの現状及び、平成29年度からの嘉麻市地域公共交通網形成計画の成果を把握、整理するために、既存の上位・関連計画の方向性の整理や、市民アンケート等でのアンケートを複数実施し、市民や利用者の意向を把握しました。</p> <p>2. 公共交通の問題点・課題の整理 上記のアンケート結果を基に、嘉麻市の公共交通の問題点、課題点を整理しました。</p> <p>3. 嘉麻市地域公共交通計画(案)の取りまとめ 調査等を踏まえ、地域にとって望ましい公共交通のあり方についての基本方針をまとめ、その基本方針に沿って、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を反映させた計画(案)を取りまとめました。</p>	A	<p>・今年度中に地域公共交通計画を策定予定。 ・2月からパブリックコメントを実施し3月中に協議会で最終決定を行い国へ提出を行います。 ・現在策定中であるが、調査結果を踏まえ、下記の内容で計画を策定します。</p> <p>【計画の区域】 嘉麻市全域及び関連する周辺地域 【計画期間】 令和5年度～令和9年度の5年間 【基本方針】 嘉麻のひと・まち・未来をつなぐ公共交通をみんなで創り、育て、磨き上げる 1. 高齢者や学生等が公共交通で気軽に外出・移動できる環境の整備 2. 転入や来訪の促進に資する嘉麻市に魅力を感じる交通環境の整備 3. 様々な交通モード・路線によって広域的に移動しやすく、賑わい創出にも資する環境整備 4. 嘉麻市に適したサービスの提供と利用促進の好循環による公共交通の持続性の確保</p> <p>を基本方針とし、各種目標及びそれに基づく施策を展開していきます。</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 ・特に今回の調査で得られた嘉麻市における公共交通の現状や課題を踏まえ、基本方針・目標や施策・事業の整理が行われたことを評価します。 ・今後は今回得られた整理をもとに、地域の実状に合致した持続可能な地域公共交通体系の構築がなされることを期待します。 ・また、地域公共交通計画の実行にあたっては、長期的な視点を考慮しつつ、地域の理解を得ながら施策が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
宗像市地域公共交通活性化協議会	<p>宗像市内の地域公共交通の利用実態や市民、来訪者の移動実態を調査するとともに、統計資料等から地域の状況を整理し、持続可能な公共交通網の構築に向けた基礎資料の収集、課題の整理を実施した。</p> <p>主な結果としては、JR、路線バス、ふれあいバス、コミュニティバス、渡船、いずれの利用者も減少しており、交通事業の経営が悪化している。また、市民等の移動状況については、人口減少に転じ、移動量も減ってきている。日常の外出時の移動手段は自家用車の割合が高いことも、交通事業悪化の影響の一因。</p>	A	<p><補助対象事業名></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗像市地域公共交通計画策定業務 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性と公共交通の現状を把握する調査 ・市民の移動特性やニーズを把握する調査 ・計画素案作成 ・協議会開催 <p><実施時期等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年9月15日～令和5年3月31日 <p><計画策定の方針></p> <p>市民・来訪者が利用しやすく、わかりやすい公共交通を持続的に提供することと合わせ、戦略的なまちづくりとも連携できるよう公共交通網を構築する。</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で得られた宗像市における公共交通の現状や課題を踏まえ、多様なモードが相互に連携し、まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通体系の戦略的な構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、今後の地域公共交通計画の実行にあたっては、地域の理解を得ながら施策を着実に実施するとともに、同計画に基づく各施策に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
糸田町地域公共交通会議	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域概況の整理 ・上位関連計画等の整理 ・公共交通の現状整理 ・公共交通事例・各種支援制度の整理 ・地域ニーズの把握 (町民アンケート調査/福祉バス利用状況調査/公共施設利用者のニーズ調査/行政区長・民生委員による意向調査を実施) ・地域公共交通の課題の整理 ・計画の基本方針・目標の検討 ・目標達成のための施策の検討 ・計画素案の作成 ・パブリックコメント実施支援 ・地域公共交通会議の運営支援 ・報告書とりまとめ ・打ち合わせ協議 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●事業名:糸田町地域公共交通計画策定業務 ●事業内容 ・地域概況の整理 ・上位関連計画等の整理 ・公共交通の現状整理 ・公共交通事例・各種支援制度の整理 ・地域ニーズの把握 (町民アンケート調査/福祉バス利用状況調査/公共施設利用者のニーズ調査/行政区長・民生委員による意向調査を実施) ・地域公共交通の課題の整理 ・計画の基本方針・目標の検討 ・目標達成のための施策の検討 ・計画素案の作成 ・パブリックコメント実施支援 ・地域公共交通会議の運営支援 ・報告書とりまとめ ・打ち合わせ協議 ●実施時期:令和4年6月15日から令和5年3月31日 ●基本方針 「たくさんの人で使い・守る みんなにやさしい公共交通の確保」 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 ・今回の調査で得られた糸田町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の実状に合致した持続可能な地域公共交通体系の構築がなされることを期待します。 ・また、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、糸田町の上位計画等を踏まえた長期的な視点を考慮しつつ、地域の特性を踏まえた計画を策定されるとともに、策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
宇美町地域公共交通活性化協議会	<p>～調査事業の主な内容～</p> <p>【地域内の公共交通に関する現況調査】 既存資料の収集・整理から、地理的条件や道路網の状況、人口分布、施設立地など地域特性を把握・整理した。また、既存公共交通のルートや頻度などの運行状況の整理と、バス停ごとの利用者数などを把握を行った。</p> <p>【住民のニーズ調査】 アンケート調査により、住民の移動先、時間帯、手段などを網羅的に把握し、町全体の移動需要を整理した。また、公共交通の利用の可能性のある潜在的な住民を抽出し、改善策を見出すためのヒアリング調査等を実施した。 ・アンケート配布票数3,000票 ・アンケート回収票数1,317票</p> <p>【交通事業者ヒアリングと運送サービスの把握】 町内の交通事業者へのヒアリングを実施し、交通事業者の意向を把握するとともに、既存運送サービスの状況を整理した。</p> <p>【地域交通の問題点、課題の整理】 現況調査及び住民ニーズ把握調査などの結果をもとに、公共交通網の形成にあたっての課題を整理し、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針をまとめた。</p>	A	<p>旧態依然とした町内の公共交通体系を見直し、持続可能な公共交通体系を構築することを目的として、上位計画や関連計画との整合を図りつつ、宇美町地域公共交通計画を策定する。</p> <p>計画策定のためには、地域概況や公共交通機関の状況等についての現状を把握するとともに、交通体系の見直しに際しての、町民の移動需要を把握することが必要である。また、今回策定する計画では、持続的な公共交通として地域に定着させることを見据えていることから、地域住民の行動変容状況や利用意識について調査し、計画策定に必要となっている。</p> <p>また、各交通事業者が担うべき役割を明確にし、民間の新技术や新たなサービスを活用した持続可能な交通システムを構築することを見据えながら、現状の課題改善を図るとともに、子育て世代、運転免許返納者等に公共交通の利用を促し、誰ひとり取り残されない社会の構築を目指す。</p>	<p>・今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>・今回の調査で得られた宇美町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の実状に合致した持続可能な地域公共交通体系の構築がなされることを期待します。</p> <p>・また、今後の地域公共交通計画の策定にあたっては、宇美町の上位計画や関連計画との整合性を図りつつ、長期的な視点を取り入れ、地域の特性を踏まえた計画もくつ用の設定を検討されるとともに、策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域公共交通を取り巻く環境の整理 ・佐賀市における地域公共交通の課題抽出 ・協議会開催 ・地域公共交通計画(案)のとりまとめ <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存公共交通のデータ整理により、地域の公共交通の状況を整理・把握した。 ・地域公共交通のめざすべき姿を検討し、地域公共交通協議会において計画素案を作成。 ・1月～2月にかけてパブリック・コメントを募集したのち、2～3月開催予定の会議を経て、佐賀市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	<p>令和5年3月に策定する佐賀市地域公共交通計画では、「利便性・効率性の高い公共交通ネットワークの構築」、「地域特性に応じた多様な公共交通の実現」、「協働と連携による公共交通施策の推進」、「デジタルを活用した利便性と生産性の向上」の4つを計画の基本的な考え方としている。</p> <p>この考え方のもと、今回の調査で収集・整理した基礎データを有効活用し、計画に記載する各事業に取り組んでいくこととしており、特に、「バス路線のサービス改善」「地域にあったラストワンマイルの導入」「デジタルを活用した利便性と生産性の向上」に重点的に取り組むことで、地域公共交通の総合的なネットワークを構築していくとしている。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された佐賀市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働し地域公共交通の総合的なネットワークが構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	<p>【事業内容】 (1)関連計画等及び各種統計調査等の基礎データの整理及び活用 (2)現状分析・課題の整理 ①公共交通の現状整理 ・町内の公共交通及び民間送迎の運行状況の調査、整理。 ②公共交通利用者の現状及びニーズ把握のため、調査を実施 ・町民アンケート ・高校生向けアンケート ・コミュニティバス乗り込み調査 ③交通事業者、その他関係団体へのヒアリング調査の実施。 (3)計画の策定 ①基本方針、計画目標の設定及び事業の検討を実施 ②パブリックコメントの実施 ③計画書及び本計画概要版の案のとりまとめ</p> <p>【結果概要】 ・事業の実施状況の整理、統計データやオープンデータを活用した地域の公共交通の状況の整理を行った。 ・公共交通利用者へのアンケート調査や事業者・関係団体へのヒアリング調査を行い、課題の整理を行った。今後、協議会での検討を経て、計画をとりまとめる。</p>	A	<p>【補助対象事業名】 みやき町地域公共交通計画</p> <p>【事業内容】 (1)関連計画等及び各種統計調査等の基礎データの整理及び活用 (2)現状分析・課題の整理 ①公共交通の現状整理 ・町内の公共交通及び民間送迎の運行状況の調査、整理。 ②公共交通利用者の現状及びニーズ把握のため、調査を実施 ・町民アンケート ・高校生向けアンケート ・コミュニティバス乗り込み調査 ③交通事業者、その他関係団体へのヒアリング調査の実施。 (3)計画の策定 ①基本方針、計画目標の設定及び事業の検討を実施 ②パブリックコメントの実施 ③計画書及び本計画概要版の案のとりまとめ</p> <p>【実施時期】 令和4年8月1日～令和5年3月17日</p> <p>【計画策定の方針】 まちづくり・福祉・教育等の様々な分野と連携した公共交通利用策を展開し、地域の住民の生活を支えるとともに、持続可能な公共交通の実現を目指す。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 まちづくり・福祉・教育等の様々な分野と連携した公共交通利用策を展開し、地域の住民の生活を支えるとともに、デマンド型乗合バス・タクシーも含めた持続可能な公共交通が実現されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
有田町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内の公共交通に関する現況調査 ・地域住民のニーズ把握調査 ・交通事業者ヒアリング調査 ・有田町地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公共交通の利用実績等の調査、住民アンケートや乗降調査等により現況整理・分析を行った。 ・交通会議(協議会)において現況整理結果をもとに目指す地域公共交通の実現に向けた課題と取組についての検討を行った。 ・有田町地域公共交通計画(素案)を作成し、令和5年2月のパブリックコメント実施後、令和5年3月に「有田町地域公共交通計画」として取りまとめる予定。 	A	<p>【基本方針】</p> <p>誰もが安全・快適に移動でき、持続可能なまちづくりと強調する地域公共交通の実現</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域公共交通の利用拡大 ②地域公共交通の運行効率向上 ③まちづくり・地域活性化との協調・支援 ④交通資源の連携・活用 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>交通計画の基本方針である「誰もが安全・快適に移動でき、持続可能なまちづくりと協調する地域公共交通の実現」に向けて関係者間で連携した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県地域公共交通活性化協議会【地域公共交通協働トライアル推進事業】	<p>(事業内容) 「県全体の幹線公共交通ネットワークの提示」に必要な情報の把握・整理し、地域公共交通計画(案)をとりまとめる</p> <p>(結果概要) 調査の結果、以下の課題が明らかになった ○離島・半島地区への移動手段の確保、人口減少、少子高齢化の進展による輸送人員の減少、自動車運転免許証自主返納者の増加、高齢者等の移動手段の確保 ○輸送人員の減少による経営ひっ迫(新型コロナウイルス感染症の影響による輸送人員の更なる減少)、需給バランスの悪い路線等が存在、バス・鉄道等の運転士の高齢化や人員不足による交通サービスの縮小、燃料や物価高騰、脱炭素等、公共交通事業者を取り巻く新たな環境の変化、各種要因による行政負担額の増加</p>	A	<p>【補助対象事業名】 長崎県地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容】 県全体の幹線公共交通ネットワークの提示に必要な情報の把握・整理</p> <p>【実施期間】 令和5年4月～令和8年3月</p> <p>【基本方針】 1. 持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築 2. 地域との共創による最適な地域モビリティの推進</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今後は、今回の調査で整理された長崎県内における公共交通の現状や課題を踏まえ、各市町村協議会と連携し、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
島原市地域公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> ランダムに抽出した市民2,000世帯に対する市民アンケート調査を実施(946票回収) 交通事業者に対するヒアリングを実施 	A	<p>【補助対象事業】 島原市地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】 関係団体への現状及び今後の方針等の聞き取り調査。 公共交通全般に関する地域住民の意識・課題・要望の調査及び把握。</p> <p>【実施期間】 令和5年度～令和9年度</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域公共交通利用者の乗り換え利便性を高める交通結節機能の向上 ②市民の地域公共交通利用を促す取組の推進 ③観光客の広域移動・市内周遊の利便性を高める取組の推進 ④地域公共交通の持続可能性向上に向けた取組の推進 	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された島原市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
諫早市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共交通の現状調査 ・地域の交通のニーズ及び課題の把握 ・諫早市地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 ●調査事業の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共交通の現状調査 交通、施設立地、人口・人流等の状況を把握・整理する調査を行った。 ・地域の交通のニーズ及び課題の把握 交通事業者等ヒアリング、市民・民生委員アンケート及びバス乗降調査等により公共交通の利用状況、経営状況とニーズ、交通資源の調査を行った。 ・諫早市地域公共交通計画(案)のとりまとめ 問題点や課題を整理し、基本方針をまとめ、目標、改善策及びスケジュール等を具体的に反映させた計画(案)をとりまとめた。 ・協議会開催 公共交通の望ましい姿を議論するための協議会を開催した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●補助対象事業名 諫早市地域公共交通計画策定調査業務 ●実施時期 令和5年3月計画策定予定 (計画期間: 令和5年4月～令和10年3月) ●計画策定の方針 <ul style="list-style-type: none"> ・市内外や市内の拠点間の移動手段の持続的な確保・維持 ・需要に応じたサービス水準の適正化・網羅性の向上とネットワークとしての一体性の確保 ・広域交通体系の効果の拡大と波及の促進 ・多様な主体との連携などによる移動サービスの確保・利用促進 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された諫早市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定期間中、比較的高頻度で協議会および分科会(以下、協議会等)を開催し、関係者間で様々な議論及び情報共有を行ってきたものと思われませんが、計画策定後においても同様に、定期的な協議会等を開催および、関係者への情報共有および計画に沿った取組についての議論が活発に行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
西海市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <p>1. 地域概況に関する整理 1) 市の現況に関する整理 2) 地域交通資源の現状整理 3) 地域特性の整理</p> <p>2. 公共交通の実態・ニーズ把握調査 1) 路線バスのマーケット分析 2) バス利用者ヒアリング調査(乗り込み調査) 3) 市民アンケート調査 4) 交通事業者ヒアリング調査 5) 交通事業者ワーキング 6) 地域交通を取り巻く問題点・課題の整理</p> <p>3. 地域公共交通計画(案)のとりまとめ 各種調査を踏まえ、持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理し、計画(案)を取りまとめた。</p> <p>4. 協議会開催 計画策定に向けた調査内容や、結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。</p>	A	<p>～運転手不足が起因した公共交通サービスの魅力低下を未然に防ぐために～ 「さいかい未来SDGS」 市(S)民の日常生活と地域経済・交流を デ(D)ザインする 持(G)続可能な移動環境の 創(S)造</p> <p>①効率性と利便性のバランスに配慮した公共交通ネットワークの形成 ・学生や高齢者などの交通弱者を中心に、誰もが簡単に公共交通に関する情報を入力し、公共交通のサービスと自身の移動スケジュールを無理しない範囲であわせることで、便利で快適に移動できる生活環境を創出する。 ・そのため、路線バスやさいかいスマイルワゴン等をはじめとする多様な陸上交通と航路が相互に乗り換え利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークを構築する。</p> <p>②公共交通に関する意識醸成と地域・事業者・行政が連携した利用促進策の展開 ・公共交通が環境にやさしく、まちづくりに必要不可欠なインフラであることの重要性を発信しながら、市民はもとより観光客等の来訪者も含む多くの人々が主体的に公共交通機関を利用したくなるよう、情報発信の強化や各種の利用促進策の展開を図る。</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された西海市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
雲仙市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○雲仙市における公共交通の現状分析 <ul style="list-style-type: none"> ・潜在需要となる人口動向(人口分布や人口推移と将来推計)、人口流動(観光や通勤、通学等)、施設立地(行政施設、商業施設、医療施設等)など地域特性を把握・整理した。 ・既存の公共交通の運行状況を整理した。 ・交通機関事業者へのアンケート・ヒアリングを行った。 ○市民へのアンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の外出の実態や公共交通の利用状況等を把握し整理するためアンケート調査を行った。調査対象として、15～24歳及び60歳以上の男女3,000人とした。 ○地域公共交通計画(案)のとりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・現状分析や市民アンケート調査等の結果をもとに本市地域公共交通の解決すべき課題を整理し上位計画や関連計画を踏まえつつ、地域にとって望ましい地域公共交通のあり方について「基本方針」をまとめた。 ・基本方針に沿って目標、事業の実施主体、事業内容等を反映させた計画を取りまとめた。 ○協議会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けた調査内容及び調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。 	A	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 雲仙市地域公共交通計画策定業務</p> <p>【実施時期】 令和5年度から令和9年度</p> <p>【計画策定の基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多様な移動サービスを「適材適所」で組み合わせた、効率的で持続性の高い公共交通 ②まちづくりや観光等の関連分野との連携による、社会の「基盤」として機能する公共交通 ③周辺自治体との連携による、市民・来訪者等の広域的な移動・周遊を支える公共交通 ④行政や交通事業者はもとより、地域や企業・利用者等も含む多様な主体により支えあう公共交通 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された雲仙市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
東彼杵町地域 公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域概況に関する整理 ・地域公共交通の現状整理 ・地域公共交通に関する実態、ニーズ把握 (町民アンケート調査/町営バス利用状況調査/公共交通利用者ヒアリング調査/交通事業者等ヒアリング調査) ・地域公共交通を取り巻く問題点・課題 ・地域公共交通計画(案)の作成 ・地域公共交通活性化協議会の運営 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計データや交通事業者所有データ等を基に地域概況や公共交通の現状を把握した。 ・町民アンケートや公共交通利用者ヒアリングなどから移動特性や利用実態を把握し、公共交通事業者ヒアリングを踏まえ、本町における地域公共交通の問題点・課題を整理した。 ・本町のまちづくりの方向性を踏まえ、本町における地域公共交通の将来像を整理し、その実現に向けた基本方針や本計画で達成する目標、事業等を検討した。 ・各種調査結果、検討結果を東彼杵町地域公共交通計画(案)にまとめた。 ・今後、協議会を開催し、案について関係者との協議を経て、策定する。 	A	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 地域公共交通計画策定に係る各種データ収集、分析、課題整理等</p> <p>【実施時期】 令和4年度末 策定予定</p> <p>【計画策定方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本町の地域公共交通が目指す将来像 東彼杵町での快適生活を支える持続可能な公共交通 ■東彼杵町地域公共交通計画の基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通体系の利便性と持続性を高める 2. JR駅の交通結節機能を高める 3. 公共交通の利用環境を高める 4. 公共交通の積極的な利用の啓発を推進する ■東彼杵町地域公共交通計画の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通の利便性を高める 2. 公共交通の運行効率を高め、持続可能性を確保する 3. 自家用車でなくても外出できる人を増やす ■施策 <ol style="list-style-type: none"> 1. 利便性向上と運行効率化を図る公共交通ネットワークの再編(モビリティミックス) 2. 公共交通の利用環境の充実 3. 公共交通を維持・活性化していく体制の充実 4. 公共交通に関する啓発活用、利用促進の推進 	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された東彼杵町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
小値賀町地域公共交通会議	<p>1. 公共交通に関する住民アンケート 実施期間 令和4年10月17日～10月28日 対象 小値賀町民 1219世帯(令和4年9月末日) 回収率 回答 574通 回答率47.1%</p> <p>2. 公共交通利用実態の把握 陸上交通(バス、空白地有償輸送移送サービス)及び海上交通(九州商船、野母商船、町営渡船、佐世保市営渡船)について利用実態を分析</p> <p>3. 小値賀町地域公共交通計画(案)のとりまとめ 住民アンケート、公共交通利用実態の分析結果等を計画に反映させた</p> <p>4. 協議会開催 小値賀町地域公共交通会議を3回実施 第一回 令和4年 6月24日 第二回 令和4年11月21日 第三回 令和5年 3月 1日 予定</p>	A	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(地域交通計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 地域公共交通計画策定に係る各種データ収集、分析、課題整理等を行い、策定する計画へ反映させる</p> <p>【実施時期】 令和4年度末策定予定</p> <p>【計画策定方針】 小値賀町における課題等を整理した上で、以下のとおり4つの基本方針を設定した</p> <p>①町民・利用者のより良い生活・活動に資する公共交通体系の構築</p> <p>②まちづくりと連動した公共交通ネットワークの形成</p> <p>③持続可能で効率的な運営を可能とする公共交通事業体制の構築</p> <p>④情報発信力を高め地域・事業者・行政が連携した公共交通利用促進策</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された雲仙市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
人吉市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状把握 ・地域公共交通利用状況調査の実施 ・市民アンケート調査等の実施 ・評価の実施 ・人吉市地域公共交通計画のとりまとめ ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人吉市の人口動態や地域公共交通などの変化等に着目することで地域特性や現状を把握することができた。 ・地域公共交通利用者に対する調査を実施したことにより、利用状況や課題などが明らかになった。 ・市民アンケート調査や関係施設等へのアンケート調査により、地域公共交通に対するニーズなどを把握することができた。 ・前計画の評価結果や調査結果をもとに人吉市における課題を整理し、その解決に向けた計画(素案)を作成する。 ・今後、協議会で素案の審議後、パブリックコメントを実施し、最終案を協議会において審議承認を得、人吉市地域公共交通計画を策定する。 	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>地域公共交通交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p>【事業内容】</p> <p>地域公共交通計画策定に係る各種データの収集・分析、課題整理等</p> <p>【実施時期】</p> <p>令和4年度末策定予定</p> <p>【計画策定方針】</p> <p>人吉市における地域公共交通の現状及び課題等を踏まえ、課題解決に向けた方向性として①地域公共交通の再構築による利便性の向上、②地域公共交通のサービス強化による利用促進、③地域との共創による地域公共交通の維持・確保とし、誰もが暮らしやすい都市の実現、希望ある復興を支える基盤として、持続的な移動サービスの提供に向けた地域公共交通の構築することを目指す。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された人吉市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	市民アンケート調査や交通事業者ヒアリング等の基礎調査を実施し、課題の整理の上、目指すべき将来像を設定し、基本方針、実施事業を定め、荒尾市地域公共交通計画を策定した。	A	多様な交通モードの公的負担額を抑制しつつ効率的で利便性の高い荒尾市交通ネットワークを形成し、さらに、公共交通の利用者にとっても公共交通を利用することの価値を高め、既存の公共交通利用者の利用機会の増加と新たな公共交通利用者を獲得していくことで本市の公共交通の持続可能性を高めていく。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 特に、持続可能性を高めることを意識して定性的な目標を設定されているところは評価できません。 今回の調査で整理された荒尾市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
上天草市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画、都市構造等に関する分析 ・公共交通に関する現状分析 ・住民ニーズ調査 ・公共交通に関する課題・方針整理 ・上天草市地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画・関連計画の整理、人口等の基礎データを整理した。 ・公共交通利用者数や財政負担状況等、公共交通に関するデータを整理した。 ・市内1,000世帯にアンケート調査を実施(218世帯、404人分回答)。また、交通事業者等に対しヒアリング調査を実施。 ・上記を踏まえ、地域公共交通に関する課題を整理、取組の方向性を検討した。 ・整理した課題、基本方針を基に、指標、施策事業を定め、上天草市地域公共交通計画を取りまとめた。 ・協議会を6回開催し(予定含む)、関係者との合意形成を行った。 	A	<p>(基本理念)</p> <p>ひと・地域を支え、にぎわいを創出する地域公共交通 ～みんながパートナーとなり、使って守る地域公共交通～</p> <p>(基本方針)</p> <p>①交通弱者を中心とした市民の生活移動を支える地域公共交通ネットワークの形成 ②まちづくりと連携し、地域の活力につなげる地域公共交通サービス ③使いたくなる地域公共交通を一緒に考え使って守る、持続的に未来につなげる仕組みづくり</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>特に、6回もの協議会開催を行い、丁寧な合意形成を図られたことは評価できます。</p> <p>今回の調査で整理された上天草市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
天草市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の現状把握及び課題の整理 ・現状把握及び課題整理を踏まえた対応策の検討 ・地域公共交通計画案のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、高校生、交通不便地域区長、民生委員アンケート調査及び交通事業者ヒアリングの結果を整理し、個別ニーズの把握や地域課題の整理を行った。 ・第1回協議会で計画策定の背景等を共有。第2回で地域概況、各調査結果及びそのまとめを報告。第3回で計画骨子案を協議。第4回で計画素案を協議し、その後パブリックコメントを経て、天草市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	<p>【補助対象事業の名称】 天草市地域公共交通計画策定支援業務</p> <p>【実施時期等】 令和5年3月完了予定</p> <p>【目指すべき将来像(理念「やさしさと安心のまち」)】 市民が安心して暮らしていける環境の実現</p> <p>【計画の基本的な方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な交通サービスの連携・効率化による持続可能な公共交通の維持確保 2. 行政・交通事業者・市民等の協働による公共交通の利用促進 <p>【計画目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)身近な暮らしの移動を支える公共交通の充実 (2)通学・通勤や観光等の広域移動ニーズに対応した持続可能な公共交通ネットワークの構築 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>特に、市域をエリア分けして分析、検討を進められているところは評価できます。</p> <p>今回の調査で整理された天草市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
南関町地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通等の現状把握・調査・整理 ・南関町地域公共交通計画の作成 ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の資料を活用した町勢・地勢、人口分布・動態、施設立地状況、地域の移動特性等の把握・整理を行った。 ・上位計画、関連計画に関する把握・整理を行った。 ・周辺地域における公共交通の運行状況や利用状況の調査・分析を行った。 ・利用実態やニーズを把握するため、アンケート調査や交通利用者へのヒアリングを行った。 ・把握・整理、調査結果に基づき、南関町の公共交通における課題等を整理した。 ・計画目標の実現に向け、南関町の既存事業や今後の取組み事業など、各種事業の活用に向けた計画の施策・事業内容を整理・検討した。 	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通等の現状把握・調査・整理 <p>【実施時期】</p> <p>令和4年度末策定予定</p> <p>【計画策定方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①空間的/時間的な役割分担による効率的で利用者にとっても使い勝手のよい公共交通 ②周辺自治体とのさらなる連携強化により円滑な広域移動が可能な公共交通 ③まちづくりや観光等の関連分野との連携による、社会の「基盤」として機能する公共交通 ④大都市間を結ぶ広域交通資源を活かす公共交通 <p>上記の内容を踏まえ、計画を取りまとめる。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>特に、6回もの協議会開催を行い、丁寧な合意形成を図られたことは評価できます。</p> <p>今回の調査で整理された南関町内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <p>1) 今後の中津市に求められる中津市の課題と解決のあり方検討</p> <p>①日常生活施設運営者意向調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間サービス事業者(医療機関:71施設、商業施設:93施設、福祉関係事業所:170施設、宿泊施設:24施設)のサービス概要やサービス提供エリア、現状や今後の意向等を把握のためにアンケート調査 ②タクシー利用実態調査 ・市街地、郊外におけるバス不便地域において、新たな移動手段の提供に伴う既存タクシー事業者との競合状況を明らかにするため、市と市内タクシー事業者が連携し、当該地域内におけるタクシー利用実態を調査(令和4年7月25日～29日) <p>2) 地域公共交通計画の策定</p> <p>3) 協議会開催</p> <p>【調査結果の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活施設運営者意向調査により、利用者送迎や移動販売、荷物の宅配、訪問診療サービスの実態を把握することができ、民間事業者の公共交通に対する認識や今後の課題等を確認することができた。 ・タクシー利用実態調査では、中津市内のタクシー利用者の行動時間帯やエリア等の確認ができた。 ・調査結果及び昨年度調査の結果をもとに、現状課題や問題点を整理し、基本方針を定めた。 ・基本方針をもとに目標を設定し、目標達成に向けた施策の検討を行った。 ・中津市公共交通会議を開催し、協議会内で計画に対する意見集約を行い、計画への反映を行う。 	A	<p>○中津市地域公共交通計画の基本方針(案)として、以下の3つを設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域公共交通のサービス改善 2 地域公共交通の乗り継ぎ円滑化 3 地域公共交通の持続ある運行 <p>○上位計画「第5次総合計画」や関連計画「立地適正化計画」等との整合性 市の上位計画である「第5次総合計画」の方針に沿った地域公共交通計画の策定に努める。また、関連計画との整合性を図りながら、地域ニーズにあった計画を目指す。</p>	<p>今回実施された調査事業は、適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>3つの基本方針をもとに地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	<p>本事業により地域公共交通に関する問題点・課題を整理(利用需要・利用者ニーズ等を把握)するため、市民アンケート、バス乗り込み調査、大分県観光流動調査結果の分析等を行った。</p> <p><市民アンケート結果の主なもの> ○市民の外出時間帯について ・外出目的や居住地区によって外出時間帯に差異があり、市民の外出特性をふまえた効率的な公共交通サービスの提供が求められる。</p> <p>○移動と公共交通に関する市民意識等について ・路線バス非利用者の4割が「時刻表や路線図、乗り方の周知が必要」と回答。</p> <p>○移動手段の確保・維持に向けた必要な取組について ・生産年齢人口は「現状の公共交通の維持」と「移動販売サービスの実施・拡充」と「商業施設等の宅配サービスの拡充」への指摘、高齢者は「今あるバス網の維持」と「タクシー代」への一部助成への指摘が多い。</p> <p>今後、各種調査の結果分析と課題整理をもとに、日田市地域公共交通計画素案を作成し、協議会に諮り、日田市地域公共交通計画(R5～R9)の策定を進めていく。</p>	A	<p>市民アンケート等の結果をふまえ、基本理念を「私たちの暮らしを守る持続可能な地域公共交通づくり」とし、以下の3つの基本方針を設定した。</p> <p>基本方針1: 持続可能な公共交通ネットワークの維持確保</p> <p>基本方針2: まちづくりの視点からみた公共交通にかかる周辺施策との連携</p> <p>基本方針3: 地域全体で公共交通を創り上げ・守り・育てる</p>	<p>今回実施された調査事業は概ね適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>計画の3つの基本方針をもとに地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	<p>佐伯市の公共交通網は、市の運営するコミュニティバス、デマンド型バスが主な公共交通手段であるが、将来において公共交通網を維持していくために、市の総合計画や関連の計画との整合性をはかりつつ、市内全域を包括する交通計画を策定する。</p>	A	<p>・補助対象事業名 地域公共交通計画策定事業</p> <p>・事業内容 佐伯市地域公共交通計画の策定</p> <p>・実施時期 令和4年12月19日から令和5年3月20日</p> <p>・調査結果による計画策定の方針 現在調査事業実施中</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、来年度利便増進実施計画を策定するにあたっては、更に関係者間と協議を進め、市内の公共交通網がより持続可能となるような内容となることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移動サービスの状況調査 2. 住民等の移動実態の把握 3. 地域の公共交通計画(案)のとりまとめ 4. 協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種計画等を基に公共交通の位置づけ等を整理した上で、既往の実績資料を基に詳細に把握・整理している。 2. 住民アンケート調査、高校生アンケート調査等を実施し、移動特性や公共交通に対するニーズを把握している。 観光客アンケート調査、都市圏居住者へのWEBアンケートを実施し、観光移動の需要・課題を把握している。 交通事業者ヒアリング調査により、運行にかかる交通事業者の現状等を把握している。 3. 1. 2. を基に、現計画に基づく公共交通サービス運行の効果等を検証。本市の公共交通の問題点・課題を整理する。 上記を踏まえ、本市にとって望ましい「豊後高田市公共交通計画(案)」を作成する。 4. 必要に応じて書面、対面での協議会を実施する。 	A	<p>本市域では、路線バス4系統、市民乗合タクシー路線型が12路線(令和4年10月から10路線)、区域運行が8区域等のほか、貸切旅客タクシー4事業者等の公共交通が運行している。 利便性については費用面も含め様々な問題・課題等があり、人口減少に伴い利用者も減少傾向にある。 調査事業については、住民2,000世帯を対象としたアンケート調査のほか、高校生や観光客等へのアンケート調査を実施しており、その結果を踏まえて、基本方針や実施事業等を取りまとめることで、効率的な公共交通体系を構築すると共に、地域の特性に合った公共交通サービスを提供することを目的として、「豊後高田市地域公共交通計画」を策定する。 なお、令和4年度中に、計画についての協議会案を策定し、その後パブリックコメント実施を経て、地域公共交通計画を策定する。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された豊後高田市における公共交通の現状や課題を踏まえ、効率的な公共交通体系を構築すると共に、地域の特性に合った公共交通サービスを提供されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杵築市地域公共交通計画策定にあたり、利用者ニーズ把握のための無作為抽出による市民2,000名にアンケート調査を行った。 ・コミュニティバスに調査員を乗車させて聞き取り調査を実施した。 ・市内外の高等学校2校に対しアンケート調査を実施した。 ・市内の病院・スーパー等主要施設での来訪者調査を実施した。 ・市内中学校3校3年生の保護者に対しアンケート調査を実施した。 ・市内3地域で、ワークショップを実施した。 ・地域公共交通計画素案の作成 ・地域公共交通会議の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査により、路線バス、コミュニティバス、スクールバス、病院送迎など、多くの輸送資源が重複して運行されていることを確認することができた。 ・調査結果を基に現状の課題や問題点を整理し、基本方針を定めた。 ・基本方針をもとに目標を設定し、目標達成に向けた施策の検討を行った。 	A	<p>既存の利用者の利便性や新たな利用者(高校生や自家用車を持たない高齢者等)の獲得を図り、持続可能な地域公共交通を目指す。地域公共交通を、まちづくりの一環として取組み、第2次杵築市総合計画後期基本計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画と整合のとれた杵築市の地域公共交通のマスタープランとする。</p> <p>地域公共交通計画の基本方針(案)として、以下の3つを設定する。 基本方針1 全市民が移動サービスを利用できる環境の創出 ➡様々な移動サービスを組合せ、全市民が移動サービスを享受でき、地域に安心して暮らすことができる環境の創出を図る。 基本方針2 効率的で持続的な移動サービス体系への転換 ➡必要十分な交通資源を持続的に運営し続けるため、利用状況や利用意向を見極め、適切な移動サービスへの転換を図る。 基本方針3 MMや観光目的の移動手段など新たな需要の取込み ➡高齢者の自家用車からの転換や、観光来訪者の公共交通利用の促進を図り、公共交通サービス全体の利用促進・持続性向上を図る。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 3つの基本方針をもとに地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・社会動態・移動サービスの提供状況の整理 ・公共交通利用状況調査 ・市民の移動ニーズ調査(アンケート調査) ・地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性の把握・整理及び宇佐市地域公共交通網形成計画について改善点等の整理を行った。 ・既存路線バス及びコミュニティバスの利用実態調査、市民アンケートを行うことで、移動実態及び移動ニーズについて把握した。 ・各種調査を踏まえ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についてまとめた基本方針に沿って、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標値、実施事業等を具体的に反映させた計画(案)の取りまとめを完了する見込み。 	A	<p>【補助対象事業名】</p> <p>宇佐市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【実施時期】</p> <p>令和5年度中に計画策定予定</p> <p>【方針】</p> <p>宇佐市地域公共交通網形成計画の執行状況や住民ニーズ等の検証、総括及び調査検討結果を基に、路線バス、コミュニティバス、予約制乗合タクシー等の新規導入の可能性、交通空白地帯の有無、未成年者(主に小・中学生)の移動のニーズや新たな輸送資源の導入の可能性、コミュニティバス停留所等関連施設、設備の整備方針を地域公共交通計画として取りまとめる。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された宇佐市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通の現状・課題の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者への聴き取り等により運行状況を整理し、公共交通以外の移動サービスについて状況把握。 ●移動実態の現状把握・利用状況調査 <ul style="list-style-type: none"> ・2,000部の住民アンケート調査実施(回収率約57%) <ul style="list-style-type: none"> ➡地域別の状況把握 ・市内高校全生徒へのアンケート調査実施。 <ul style="list-style-type: none"> ➡通学手段・日常利用の実態把握。 ・市内中学校3年生保護者へのアンケート調査実施。 <ul style="list-style-type: none"> ➡進学先での想定交通手段の把握。 ・空港利用者へのアンケート調査実施。 <ul style="list-style-type: none"> ➡空港アクセスの公共交通利用実態の把握。 ・路線バス、コミバスへの乗込み調査実施。 <ul style="list-style-type: none"> ➡利用者への聴き取り実施。 ・旧町単位でのワークショップの開催。 <ul style="list-style-type: none"> ➡地域における将来像について意見交換。 ●計画案のとりまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査の結果を分析し、市の上位計画・関連計画を踏まえた上で基本方針をとりまとめ計画案を策定する。 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状把握の結果、路線バス、コミバス、スクールバス、病院送迎、地域でのボランティア等、様々な手段が重複して運行されていることを確認した。 ・各種アンケート調査の結果、中学生から高齢者まで幅広い世代の移動の実態、公共交通の利用状況を把握することができた。 ・調査結果を基に、課題や問題点を整理し、基本方針を定めた。 ・基本方針を基に、目標を定め、達成に向けた施策の検討を行った。 	A	<p>地域公共交通計画の基本方針(案)として、以下の4つを設定する。</p> <p>基本方針1 路線・地域の状況に応じた適切な運行 基本方針2 通学利用環境の確保 基本方針3 輸送資源の枠組みを超えた連携 基本方針4 観光施策と連携した公共交通利用環境の創出</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>4つの基本方針をもとに地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通協議会	今年度実施したアンケート調査や再編実施計画のフォローアップから利便性・効率性・持続可能性に対する課題と問題点を整理し、本町の上位計画や関連計画から求められる公共交通の役割を踏まえて計画の目標を設定した。網形成計画や再編実施計画に基づき実施した事業の成果や反省を反映させながら九重町地域公共交通計画を策定していく。	A	公共交通のあり方や本町における公共交通の問題点・課題を踏まえて下記の目標を設定 ①九重町が目指すべき将来像とともにその中で公共交通が果たすべき役割を明確化する。 ②公共交通の活性化及び再生に向けた取組の方向性を定める。 ③地域の真のニーズや課題を詳細に検討したうえで定める。 ④町づくり、観光振興等の地域戦略との一体性の確保 ⑤地域全体を見渡した地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保 ⑥地域特性に応じた多様な交通サービスの組合せ ⑦住民の協力を含む関係者の連携	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 7つの目標をもとに地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	<p>○調査事業の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の移動実態、公共交通に対するニーズ調査(アンケート調査3,000人、回収率36%、OD調査等) ・地域公共交通の課題の分析や整理 ・実現に向けた施策の検討及び地域公共交通計画(案)の取りまとめ ・地域公共交通会議の開催 	A	<p>日向市地域公共交通計画の基本方針は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の相互連携及び機能分担による誰もが利用しやすい交通環境の提供 ・将来にわたり持続可能で“コンパクト・プラス・ネットワーク”を支える交通軸の形成 ・新たな公共交通サービスの導入による公共交通不便地域への対応 ・観光や商業等、まちづくりにおける他分野との連携 ・運行情報の一元化による利便性向上及び利用を促進する取組みの実施 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>特に、地域の移動実態、公共交通に対するニーズ調査を丁寧に実施されていることは評価できます。</p> <p>今回の調査で整理された日向市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に関する調査 市民2,000人を無作為に抽出して郵送による市民アンケート調査を実施し(回収率42.5%)、公共交通の利用状況や移動サービスに対するニーズなどを把握・整理した。 既存の公共交通に関する利用実態の把握 市内を運行する路線バスやコミュニティバスの乗り込み調査を行い、利用実態を把握した。 地域公共交通計画(案)の取りまとめ 問題点や課題を整理し、地域にとって望ましい公共交通網のあり方について検討を行い、地域公共交通計画(案)をとりまとめた。 地域公共交通活性化協議会の開催 計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するため、協議会を合計5回開催した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 多様な移動サービスを「適材適所」で組み合わせた、効率的で持続性の高い公共交通 まちづくりや観光などの関連分野との連携による、社会の「基盤」として機能する公共交通 県都宮崎市との近接性などの西都市の“強み”を活かす公共交通 行政や交通事業者はもとより、地域や企業・利用者等も含む多様な主体で支え合う公共交通 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された西都市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関し、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
三股町地域公共交通会議	<p>三股町地域公共交通計画策定に当たって、令和3年度に実施した調査結果を精査し、課題の抽出、基本理念・方針、目標・評価指標、実施事業等を設定した。</p> <p>設定等を行った主な事項は次のとおり。</p> <p>【調査結果により抽出された課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①買い物・通院時に公共交通を利用する高齢者の移動手段の確保 ②通学時に公共交通を利用する子どもたちの移動手段の確保 ③地域公共交通の相互連携による利便性の向上 ④他産業との連携による公共交通の利用促進 ⑤地域の実情に応じた公共交通サービスの提供 <p>【課題に対応するための基本理念】</p> <p>自立と協働が織りなす「元気あふれるまち三股」を支える 町民・来訪者の移動の基盤となる地域公共交通の実現</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の再整備及び持続強化による利用しやすい交通体系の整備 ・町内輸送資源の総動員による地域一体型の持続可能な環境の構築 ・地域住民主体の取組等の推進による交通空白地の解消 ・新たな需要を取り込むための他分野・産業との連携 ・モビリティ・マネジメントによる多様な移動手段の利用の推進 <p>【計画目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性が高く、利用者に親切な交通ネットワークの実現 ・公共交通システムの役割を明確化した一体的なネットワーク形成 ・乗継ぎの円滑化を目指した交通結節点の機能整備 ・他分野・産業との連携による町全体の活性化 ・町民、交通事業者、行政の協働による持続可能な体制づくり <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民等の移動手段としての利便性向上及び結節点等の機能向上 ・広域を結ぶ交通としての役割維持及び結節点等の機能向上 <p>など全10項目の事業を設定し、実施時期、実施主体等を定めた。</p> <p>【進捗評価、進行管理等】</p> <p>上記事業の実施を進めるスケジュール、管理体制を定めた。</p>	A	<p>令和3年度に実施した調査結果から、本町の公共交通が抱える課題を抽出し、課題に対応する基本理念、目標・評価指標、実施事業等を設定することができた。</p> <p>令和5年度は、今年度に策定する計画を基に、路線再編・ダイヤ改定、路線再編に伴う実証実験、新たな交通サービス導入の検討等を進ると共に、新しい路線等について地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)に申請する予定である。</p> <p>また、令和6年度以降は、必要に応じたバス車両の整備等を行っていく予定である。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>特に、法定協議会3回、計画策定委員会3回もの協議会開催を行い、丁寧な合意形成を図られたことは評価できます。</p> <p>今回の調査で整理された三股町内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
門川町地域公共交通会議	<p>地域概況の整理、住民の生活実態及びニーズ把握調査、地域公共交通計画(案)の作成、協議会の運営等を行った。</p> <p>住民の生活実態及びニーズ把握調査では、乗合タクシーの運行経路である地区を対象に1,500世帯にアンケート調査を実施。また、郊外部で利用が低迷している路線の沿線地区を対象に区長ヒアリングを実施し、交通弱者の意向把握を行った。</p> <p>この調査結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の移動ニーズ、特性に関する課題 ・公共交通の利便性に関する課題 ・公共交通の持続可能性に関する課題 <p>が把握できた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・補助申請を行う補助対象事業名 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業) ・事業内容 地域概況の整理、住民の生活実態及びニーズ把握調査、地域公共交通計画(案)の作成、協議会の運営等 ・実施時期 令和4年6月～令和5年3月 ・計画策定の方針 町の最上位計画である「第6次門川町長期総合計画」において、公共交通分野の将来像に掲げている『快適生活のまちづくり-交通環境の整備』の実現に向けた取組を目指す。都市計画方針や広域的な方針と整合を図り、町の公共交通が果たすべき役割を定める。 地域全体で守り育む公共交通サービスの実現を基本的な方針とし、調査結果から把握した課題を解決するため取り組んでいく。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>特に、地域特性、町内公共交通の運行状況、ニーズ等、丁寧に現状把握を行い、課題を整理されたことは評価できます。</p> <p>今回の調査で整理された門川町内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
日之影町地域公共交通会議	<p>・町民ニーズ把握に関するアンケート調査</p> <p>・地域現況の把握</p> <p>・日之影町地域公共交通計画の策定</p> <p>・協議会の開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>町民アンケート調査(1,406世帯、回収率62.2%)、交通事業者及び利用者等へヒアリング調査を実施、利用者の移動特性や公共交通の現状を把握した。</p> <p>・地理的状況、人口・世帯状況、主要施設の立地状況などを把握し基礎的データを整理した。</p> <p>・各種調査結果を基に、課題を整理したうえで、基本方針、計画の目標、目標達成のための施策・事業など策定中。令和5年3月の完成を予定。</p>	A	<p>日之影町地域公共交通計画の計画策定等に向けた方針</p> <p>【基本方針】</p> <p>方針① 路線バスを軸にしながら、多様なサービスを組み合わせることで住民生活を支える公共交通</p> <p>方針② 関連分野との連携による、社会「基盤」として機能する公共交通</p> <p>方針③ 大都市間を結ぶ広域交通資源を活かす公共交通</p> <p>方針④ 行政や公共交通事業者はもとより、地域や企業・利用者等も含む多様な主体により支え合う公共交通</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された日之影町内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島県地域公共交通協議会【地域公共交通協働トライアル推進事業】	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民アンケート調査、高等学校等へのアンケート調査、市町村アンケート調査、交通事業者ヒアリング調査などを実施。 ○公共交通の課題整理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通に関する調査結果をもとに問題点や課題を整理 ○地域公共交通協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2回実施(うち、書面協議1回) ※1回は令和4年度末までに実施予定 	A	<p>(補助対象事業名) 鹿児島県地域公共交通計画策定事業</p> <p>(事業内容) 令和4年度に実施した公共交通に関する調査を基に地域公共交通計画を策定する。</p> <p>(実施時期) 令和6年3月策定予定</p> <p>(目標値等) 調査等を実施中のため、今後具体的に決定予定</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された鹿児島県内における公共交通の現状や課題を踏まえ、各市町村をはじめとする関係者と議論を尽くし、地域公共交通計画が策定されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
阿久根市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容と結果】</p> <p>1 計画準備、法改正、関連事業の整理 計画策定に当たっての留意点等を整理するとともに、参考となるモビリティサービスの導入事例等の整理を行った。</p> <p>2 地域概況に関する整理 各種データ等を活用し、本市の地理特性や交通の現況、移動特性等を把握・整理するための調査を実施した。</p> <p>3 地域交通に関する実態、ニーズ把握調査 市民、鶴翔高校生、交通事業者、商業施設、医療機関等へのアンケート又はヒアリングを実施し、公共交通機関の利用状況等を把握するとともに、抱えている課題や意向等を把握した。</p> <p>4 地域公共交通計画(案)のとりまとめ 上記～を受けて、交通政策の基本的な方針・目標の方向性を検討、設定し、計画(案)の取りまとめを行った。</p> <p>5 協議会の開催 計画策定に向けた調査分析内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方等についての議論及び本市の目指すべき将来像や目標設定等を議論するための協議会を開催した。</p>	A	<p>本市域では、鉄道1路線、路線バス15系統、乗合タクシー10地区、タクシー2事業者等の公共交通が運行されているが、利便性、認知度をはじめとする様々な問題・課題等があり、公共交通の利用は限られている。また、人口減少に伴い利用者も減少傾向にある。</p> <p>調査事業については、アンケート、ヒアリング調査、乗込み調査等の結果を踏まえ、基本方針や実施事業等を取りまとめることで、多様な公共交通の連携による効果的な公共交通体系を構築するとともに、地域の特性に合った公共交通サービスによる、市民のニーズに合った効果的な交通サービスを提供することを目的として、「阿久根市地域公共交通計画」を策定する。</p> <p>なお、令和4年度中に計画についての協議会案を策定し、令和5年度のパブリックコメント実施を経て、阿久根市地域公共交通計画を策定する。</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された島原市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	薩摩川内市の地域特性及び地域公共交通の現状把握、ニーズ把握(各種アンケート調査の実施)を行い、課題の整理、上位・関連計画整理を行い、本市の地域公共交通の将来像の設定、基本方針、事業内容について、本市協議会にて協議を行いながら、計画(案)を作成している状況である。	A	持続可能な地域公共交通の提供・確保のために、市民・事業者・行政等の適切な役割分担のもと、地域の課題に応じた地域公共交通の形成を目指し、地域公共交通計画を策定中であり、基本方針を『安心と活力のあるまち』を支え続ける地域公共交通の実現』と設定する。 今後、パブリックコメントを行い、意見等を反映した地域公共交通計画について3月下旬開催予定の本市協議会で協議を行い、本年度中に策定予定である。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今後は、今回の調査で整理された諫早市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定期間中、比較的高頻度で協議会および分科会(以下、協議会等)を開催し、関係者間で様々な議論及び情報共有を行ってきたものと思われませんが、計画策定後においても同様に、定期的な協議会等を開催および、関係者への情報共有および計画に沿った取組みについての議論が活発に行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
曾於市地域公共交通活性化協議会	<p>事業内容及び結果概要</p> <p>1 地域の特性、輸送資源の現状把握 (1)本市の人口動態・地理的条件・施設立地状況等の把握 (2)上位計画・個別計画の整理 (3)地域内の輸送資源の整理、既往資料の収集・整理</p> <p>2 民間サービス事業者へのアンケート調査 (1)民間サービス事業者を対象に、サービス概要やサービス提供エリア、現状や今後の意向等を把握した。 (2)現状で、サービスを実施していない事業者に対しても、新サービスの可能性(行政支援の必要性の有無も含めて)を確認した。</p> <p>3 バス乗り込み調査 (1)コミュニティ交通においては、停留所単位の1日あたり乗降客数を見える化し、再編の基礎資料とした。 (2)再編による利用者離れを最小限にするため、利用者の利用特性・ニーズ等についてコミュニケーションを通じて把握する「利用者ヒアリング」を全路線・全便で実施した。</p> <p>4 市民アンケート (1)市民の外出実態の把握に加え、公共交通の利用実態等を把握した。 (2)運賃政策や自主免許返納にかかる基礎データを収集。</p> <p>5 交通事業者ヒアリング (1)JR・鹿児島交通(株)・タクシー等の事業者ヒアリングを実施し、事業者のカミングアウトを聞き出し、その内容の重要度や着手時期等を踏まえ、今年度さらに一歩踏み込んだ検討が必要な場合は、予算の範囲内で調査計画を再構築・実行した。 (2)市外・県外の乗合バス事業者への意向調査も実施し、市の移動サービスの担い手の可能性等を把握した。</p> <p>6 関係各課ヒアリング (1)関係各課と連携して、複数の公共交通サービスの連携を高める。</p> <p>7 その他 (1)大隅4市5町交通担当者会議 鹿児島県のほか、大隅半島構成市町等の周辺市町や関係機関等と連携しつつ、国内外の交流人口の拡大に資する広域交通網の構築に努める。</p> <p>8 課題の整理、計画のとりまとめ 各種調査を踏まえ、持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題や問題点を整理し、計画(案)を取りまとめた。</p> <p>9 協議会開催 計画変更に向けた調査内容や結果を受けて、今後の交通体系の在り方について協議するための協議会を開催した。</p>	A	<p>持続可能な地域公共交通の提供・確保のために、市民・事業者・行政等の適切な役割分担のもと、地域の課題に応じた地域公共交通の形成を目指し、地域公共交通計画を策定中であり、基本方針を「『安心と活力のあるまち』を支え続ける地域公共交通の実現」と設定する。 今後、パブリックコメントを行い、意見を反映した地域公共交通計画について3月下旬開催予定の本市協議会で協議を行い、本年度中に策定予定である。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今後は、今回の調査で整理された諺早市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
志布志市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】 地域の現状、公共交通の現状の整理 現状・問題把握のための調査 地域公共交通計画の作成</p> <p>【結果概要】 ・地域公共交通網形成計画の達成状況からみた当時の課題の解消状況の評価結果に加え地域の変化や利用ニーズ等の変化、新たな生活様式に関するトレンドの整理をもとに、移動サービスとしての視点、果たすべき役割の視点、持続可能性の視点から公共共通をとりまく課題の整理を行った。 ・市民アンケート(15歳以上3,772人)、中学生保護者アンケート(市内4校の中学3年生の保護者対象)により、市民の声を聴取した。自家用車への依存が高いことや世代間、時間帯での交通機関の利用実態やニーズの把握を行った。 ・事業者ヒアリングを行い、本市内における交通機関の運転手数や台数等現状の把握を行い、今後の市の移動サービスの担い手の可能性を把握した。 ・上記の分析・調査結果などにより、本市の課題、方向性を整理し、計画案を志布志市地域公共交通活性化協議会で検討した。</p>	A	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 各種データの収集分析を行い、本市における今後の地域公共交通のあり方を検討し、「志布志市地域公共交通計画」を策定する。</p> <p>【計画策定方針】 志布志市における公共交通の現状等を把握し、生活交通の課題や問題を浮き彫りにするとともに、その課題解決に向け、本市のまちづくりの基本となる総合振興計画や都市計画マスタープランなど各種政策との整合性を図りつつ、地域公共交通の課題や実情に即した交通体系のあり方を検討し、志布志市地域公共交通計画を策定した。</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された志布志市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われること、計画内で定めた目標を達成できる取り組みが行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	<p>■事業内容</p> <p>(1)地域特性及び公共交通の現状把握 (2)市民の移動実態やニーズ把握調査 (3)将来構想に向けた分析・検討 (4)伊佐市地域公共交通計画(案)の策定 (5)協議会開催</p> <p>■結果概要</p> <p>(1)上位計画である総合振興計画等における、公共交通の位置づけ等を整理した。人口特性をはじめとし主要施設等の分布といった地域特性が把握できた。地域公共交通網の現状について整理した。 (2)市民の公共交通の利用状況や、利用ニーズ等を把握するため、2,500名程度を対象にアンケート調査を実施したほか、移動制約者に対し民生委員による聞き取り調査を実施。公共交通利用者調査(乗込み調査)、宿泊・観光・商業施設でのヒアリング調査、公共交通事業者等関係者へのヒアリング調査、庁内ヒアリング調査、高校生アンケート調査、自治会長アンケート調査、のりあいタクシー利用者アンケート調査、住民座談会を実施した。 (3)市民の移動や公共交通運行、観光利用における課題やニーズを分析し、課題解決に向けた対応方針を含む、上位計画及び関連計画と整合する将来構想、目標を検討した。 (4)将来構想、目標達成のための施策、新たな交通サービスの導入に係る施策を検討し、地域公共交通活性化再生法に定められた必要な事項を踏まえ伊佐市地域公共交通計画案を作成。 (5)協議会4回、分科会4回を開催。</p>	A	<p>方針①:市民の暮らしに合った交通サービスの提供 まちの変化に伴う地域ごとの移動実態やニーズに合わせた運行サービス等の見直しを適宜図ることで、市民の日常の移動を支える公共交通体系の構築を目指す。多くの市民が利用する商業施設や医療施設への移動が円滑にできるように、大口市街地内での移動利便性の向上を図る。 のりあいタクシーの利用拡大に向けて、利用者の移動ニーズに合わせた運行区間の見直し、区域運行への変更、スムーズに乗り継ぎできるダイヤ設定等、利便性向上に向けた見直しを図る。</p> <p>方針②:市民・来訪者が公共交通を利用しやすい環境の構築 市民・来訪者の誰もが安全・快適に公共交通を利用できる環境を目指し、乗り継ぎしやすいダイヤ設定や、交通拠点等を中心にバス停における待合環境の改善、ICT技術等の最新技術の活用も含めたバス情報の提供の充実を図る。 公共交通のバリアフリー化に取り組み、高齢者や障がい者など誰もが利用しやすい移動手段を目指す。</p> <p>方針③:市民の公共交通に対する意識向上 将来にわたり公共交通を維持・確保していくためには、市民が公共交通を利用することが重要であることを十分に周知し、市民の公共交通への意識向上と利用促進を図る。 公共交通を利用して暮らす習慣の定着を図るため、多様な関係者と連携しながら、子どもや高齢者等それぞれの対象に適した効果的な働きかけに取り組む。</p> <p>方針④:持続可能な公共交通の構築 地域の実情に合わせた運行内容の見直し等、利便性と効率性のバランスが整った交通サービスの提供に努め、財政負担の軽減を図る。 交通事業者の人員不足を受け、既存の交通サービスが行き届かない地域においては、地域の多様な輸送資源の活用について検討する。 市内の公共交通の活性化にあたっては、地域間の移動手段として重要である路線バスの維持にも寄与できるよう取り組む。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今後は、今回の調査で整理された諫早市内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定期間中、比較的高頻度で協議会および分科会(以下、協議会等)を開催し、関係者間で様々な議論及び情報共有を行ってきたものと思われませんが、計画策定後においても同様に、定期的な協議会等を開催および、関係者への情報共有および計画に沿った取組みについての議論が活発に行われることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域 公共交通活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域交通資源の現状整理 <ul style="list-style-type: none"> ・町内を運行する路線バスや乗合タクシー、コミュニティバス等について、運行を担う交通事業者へのヒアリングを実施しながら現状整理を行った。 ◆地域交通に関する実態、ニーズ調査 <ul style="list-style-type: none"> ・町内を運行する路線バスや乗合タクシー、コミュニティバス等について、運行費用や利用状況等に関する分析を行った。また、地域住民に対する町民アンケートや各公共交通の利用者アンケート、移動先となる施設へのヒアリング調査等を実施し、地域交通に関する課題、ニーズの抽出を行った。 ◆地域公共交通計画(案)の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・上記の整理、調査に基づき、地域公共交通計画案を策定した。計画に記載する具体的な事業については、関係先との協議、調整を行い、実現可能性の高い内容とした。 ◆さつま町地域公共交通計画の運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化協議会の資料作成や運営支援、議事録作成等を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域交通の維持・確保について 人材不足や利用者の減少など、公共交通を取りまく環境が一層厳しくなることを想定し、地域交通を守るための組織・体制の構築を進める。また、運行路線、運行ダイヤ等を見直すことで、効率良く運行及び運行にかかわる業務を行い、持続可能性の高い地域交通を形成する。 ◆公共交通に関連する新たなサービスの展開について 業務の効率化や公共交通の利用促進など複合的な効果を期待し、公共交通に関連する新たなサービス(MaaS)を展開する。他自治体への横展開を誘起するような実効性の高い取組みを目指す。 ◆モビリティ・マネジメントの推進について 地域交通の維持に対する意識醸成や利用促進を目指し、モビリティ・マネジメントを推進する。本町の環境施策等とも連動した取組みを実施する。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理されたさつま町内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
大崎町地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <p>(1)地域交通資源の現状整理 (2)地域交通に関する実態、ニーズ把握調査 (3)地域公共交通計画(案)の策定</p> <p>【結果概要】</p> <p>(1)地域交通資源の現状整理 本町の公共交通利用実績データ等を活用し、下記の点についてまとめた。 ①地域の現況、②公共交通の現状、③その他移動サービスの現状、④上位・関連計画における公共交通の位置づけ</p> <p>(2)地域交通に関する実態、ニーズ把握調査 下記の調査を実施し、5つの課題(案)、基本理念(案)、3つの基本方針(案)を作成。 ①路線バスの利用実態、②住民アンケート調査、③高校生アンケート調査、④外国人アンケート調査、⑤自治会長アンケート調査、⑥交通事業者等関係者ヒアリング</p> <p>(3)地域公共交通計画(案)の策定 上記を踏まえ計画(案)を策定した。</p>	A	調査事業結果を受け、抽出できた課題解決に向けて、基本理念及び基本方針を定め、各方針に基づいた施策、目標値を設定した地域公共交通計画を策定した。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今後は、今回の調査で整理された大崎町内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、通学支援策や新技術を活用した移動サービスの導入など、計画に基づき検討を行うものについて、検討で終わることなく、大崎町に合ったサービスが導入されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
肝付町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域交通資源の現状整理 2. 地域交通に関する実態、ニーズ把握調査 3. 地域公共交通計画(案)の作成 4. 地域公共交通会議の開催 <p>【結果概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通機関の利用状況や上位計画・関連計画、交通資源などをまとめ本町における現状整理をした。 2. 町民向けの交通アンケート調査(無作為に抽出した15歳以上の町民1,000人)と公共交通利用者を対象としたアンケート調査(乗合タクシー事業利用登録者900人)、また交通事業者へのヒアリング調査も実施し、現在から将来までの交通事情を把握した。 3. 各種調査結果をもとに、持続可能な地域公共交通ネットワーク構築に向けた課題を整理し、基本方針や目標を計画(案)へ取りまとめた。 4. 計画策定に向けた調査内容や結果を受けて今後の公共交通のあり方について議論するため交通会議を開催した。 ※計画策定にかかる交通会議は5回開催予定。 	B	<p>本町では、路線バス13系統、3事業者による2つの乗合タクシー事業により町内の交通手段の維持・確保に努めている。乗合タクシー事業は年々認知度も高くなり、利用者は増加傾向にあるが、一方で路線バスは利用者が減少傾向や担い手不足等により維持することが難しい状況にある。</p> <p>現在、交通資源や交通ニーズを把握するために利用アンケート調査・交通事業者ヒアリングを実施し、その結果を踏まえて基本方針や目標を定め、交通事業の見直しを図るとともに持続可能な公共交通を提供するため「肝付町地域公共交通計画」を策定中である。令和4年度中に計画についての協議会(案)を策定し、令和5年度はじめにパブリックコメントを実施して計画策定完了とする。</p>	<p>今回実施された調査事業は、概ね適切に実施されているものと考えられます。今後は、県の計画と整合を取りつつ、今回の調査で整理された肝付町における公共交通の現状や課題を踏まえた、持続可能な公共交通網の形成に資する計画が策定されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
屋久島町地域公共交通活性化協議会	町民アンケート調査の実施 ・15歳以上の町民2,000名を無作為に抽出し、町民アンケート調査を実施。結果、996名の回答があり、回収率は49.8%となった。	A	町民アンケート調査において、運転免許をもっていない10代や高齢者層において、移動における不安をもっている割合が高く、高齢者や通学者の買い物や通院、通学等の日常生活における移動手段の確保が必要である。車両のバリアフリー化や待合環境の整備等、利用しやすい交通環境の整備に努める。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今後は、今回の調査で整理された屋久島町内における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、同計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
種子島地域公共交通活性化協議会【地域公共交通協働トライアル推進事業】	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画準備 ・法改正、関連事業等の整理 ・地域の現状整理 ・地域交通に関する実態、ニーズ把握調査 ・公共交通の現状・問題点・課題・解決の方向性の整理 ・種子島地域公共交通計画(案)の作成 ・活性化協議会等の運営 ・幹線系統運行計画の作成 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態、ニーズ把握調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・交通事業者や施設管理者、交通拠点利用者へのヒアリング結果により、交通事業者の経営状況や利用者の移動実態、要望などを含めた公共交通に対する移動ニーズを把握することができた。 ・公共交通が抱える課題や、上位関連計画を踏まえ、基本方針を設定する。 ・種子島地域が目指す将来像や求められる役割を整理し、地域公共交通が抱える課題に対して、基本方針及び将来像を踏まえ目標の設定を行う。(数値指標・評価指標も併せて) ・設定した目標の達成に向けて、施策・事業を設定する。 ・協議会等を経て、種子島地域公共交通計画(素案)を作成後、パブリックコメントを実施し、最終的に種子島地域公共交通計画(素案)としてとりまとめる。 <p>※令和4年度中に地域公共交通計画(素案)が完成する見込み 【今後の計画策定までのスケジュール】(予定) 令和5年1月 種子島地域が目指す将来像の決定 令和5年2月～3月 各市町の支線部分の方向性を整理 幹事会・協議会を開催し、計画(素案)を諮る パブリックコメントの実施</p>	A	<p>【地域公共交通が抱える課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域公共交通体系の再構築による地域公共交通ネットワークの持続性の確保 ②地域一体となった地域内拠点へのアクセス強化による利便性向上 ③交通拠点等における機能強化による利便性向上 ④地域住民に対するきめ細かいサービスによる必要な移動手段の維持・確保 ⑤地域公共交通相互の連携強化による利便性向上 ⑥地域公共交通に関する情報発信の強化による利用機会の創出 ⑦：地域が一体となった運行組織体制の構築による持続性の確保 ⑧地域住民の地域公共交通に対する利用促進に向けた意識の醸成・利用機会の創出 <p>【基本方針】 地域の発展を支え、持続可能な地域公共交通ネットワーク及び地域公共交通サービスの実現に向けて地域一丸となって取り組みます。</p> <p>【計画の目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域住民の日常生活(暮らし)を支える移動手段の維持・確保 ②観光・交流を支える移動手段としてのサービスの向上 ③地域公共交通の利用環境の向上 ④地域が一丸となり地域公共交通を創り・守る仕組みの構築 <p>種子島地域においては、人口減少・少子高齢化が進展している一方、自家用車への依存が高く、地域公共交通利用者数は減少し、将来的な維持・確保が懸念される状況である。さらには、観光客やビジネス客などに対しても地域公共交通の利用環境が十分整備されておらず、結果的にレンタカーなどへの依存が高い状況となっている。</p> <p>一方、地域公共交通サービスの提供を担っている交通事業者においては、人員不足や車両の老朽化など厳しい経営環境に直面しており、将来的なサービスの維持が懸念される状況にある。こうした状況を踏まえ、本計画では、地域住民の日常生活を支えるとともに、来訪客の移動を支援し、様々な分野における地域の発展を支え、持続可能な地域公共交通ネットワーク及び地域公共交通サービスの実現に向け、1市2町、交通事業者、関係機関、地域住民など地域が一丸となり、将来像の実現に向けて取り組んでいくことを基本的な方針とする。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今後は、今回の調査で整理された種子島島内における公共交通の現状や課題を踏まえ、各市町協議会と連携し、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。</p>	